

飯舘村第6次総合振興計画後期計画
住民アンケートにおける意見及び回答

No.	カテゴリ	質問・意見等	回答
1	キャッチフレーズ	前期計画の「基本的な考え方ー村づくりのキャッチフレーズ」は現在の村民の生活に合っており、村の将来像とは別に、後期計画の一部に記述してはいかがかと思ひます。	前期計画の策定時は、帰村を促したり、移住を促進するといった施策や政策を推進していました。しかしながら、策定から3年が経過した今、村民の方にとって、住まいや暮らしのあり方は新たな段階にきていると認識しています。 今回新たに後期計画を策定いたしました、それにより前期計画をなくすというわけではありません。ベースとなる前期計画を基とし、それを現状に合った形で見直しを図り、また具現化したものが後期計画であるため、前期計画と後期計画をセットで見えていただくことを想定しています。 また、後期計画は、前期計画策定時の4つの基本方針をそのまま継承し、それぞれの方針が目指す村の将来像の総称として、「明日が待ち遠しくなるようなわくわくする楽しいふるさと」を定義しましたが、村の施策体系はそれぞれの基本方針の直下に整理しており、新たな「キャッチフレーズ」を定めたものではありません。 なお、新たなキャッチフレーズについては、第7次総合振興計画策定の際に改めて検討いたします。
2	人口	人口のとらえ方に問題があると思ひます。 年間90名ほどなくなっているの、なりわい人口はもっと少ないのではないのでしょうか。	なりわい人口は、村への住民票の有無に関わらず、村の企業に勤める人、村で起業する人、農林畜産業に関わっている人など、なりわいに関わるすべての人と定義しております。 現在、農業や商工業などに携わっている事業主・従業員の人口動態や住民異動等の社会要因による経年減少を想定した上で「なりわい人口を増やす」ことを目標の一つに定めるものです。
3	人口	人口増加のために ①増加している自治体を参考にするべきではないでしょうか。研修はされていますか？ ②Uターンを含めた地方移住希望者について、意識調査はされていますか？ ③村外に居住している村民の方がなぜ村に戻らないのか、意識調査されていますか？ ※上記①～③を調査してからPDCAを描くべきです。	①すべての施策において人口増加策の視点を持つという考えのもと、多くの方々に村に住みたいと思ひていただける事業内容とするため、各課それぞれに、必要に応じて先進事例のある自治体等への研修をおこなっております。 ②本村の移住サポートセンターへの相談者の方や、首都圏での移住フェアで村のブースにお越しくださった方、また村の移住ツアーへ参加して下さった方などに移住に関するアンケートを取っております。併せて、県の移住担当課や、「ふくしま12市町村移住支援センター」にて集計している移住希望者等へのアンケート結果なども参考にしながら事業を進めております。 ③村では、震災後12年経過した今、「帰村（村に戻る・戻らない）」という段階から新たに「選んで住みなおす」という段階に入っていると認識しております。そのため、震災当時の村への居住の有無に関わらず、村外にお住まいの方に「村に住みたい」と思ひてもらえる村づくりを進めているため、現在避難されている方に対して「なぜ村に戻らないのか」という意識調査はおこなっておりません。
4	人口	人口目標を立てるの良いが、現実的に、住んで居た住民が戻らないと決めている人が多分に見受けられます。 目標を達成する為、いろいろな方向性が必要と考えられると思ひます。	「帰村」についての考え方は、No.3の③の回答と同様です。 なお、ご指摘のとおり、今後も様々な事例等を参考にしながら、様々な方向性について検討していきたいと思ひます。

**飯舘村第6次総合振興計画後期計画
住民アンケートにおける意見及び回答**

No.	カテゴリ	質問・意見等	回答
5	人口 福祉	<p>・施策Ⅱ 福祉：「出番」を作るしかけづくり→これはとても良いと思います。</p> <p>①施策Ⅰのまでいブランドの確立・拡大、いいたてファンの拡大について 個人でも意識をもってやっていけばできる、後継者づくりの施策もあれば安心できると思います。</p> <p>②一人暮らしの世帯が多くなっている将来について不安があります。 住民が、やるべき事、やれる事、地域がやっていくこと・行政がやっていく事、意識して役割分担してやっていく事が、しっかりした地域づくりではないでしょうか。</p> <p>③広報やお知らせ版等、WEB発信しているので、紙ベースでいらぬ人はWEB申し込みで経費削減にならないでしょうか？</p> <p>④村の人口（住基人口）について 子供が学園を卒業し、進学先を選ぶ中で、子供だけではなく世帯ぐるみで転出する場合も考えられます。その分の、15名／年の確保の方法は具体的にどのように考えているのでしょうか？ 全国の世帯人口減の中で特に福島県は2名／世帯を切っているようです。その様な中で、緩やかな減少を目標にする事はとても良いと思います。</p>	<p>①施策Ⅰを推進していくための具体的な取組につきましては、別冊の「実施計画」に記載していくこととなりますが、ご指摘いただいたような個人の支援や後継者づくりの視点も包含した内容としていきたいと思っております。</p> <p>②計画素案36ページの福祉施策の中で、皆様が安心して生き生きと活躍し暮らし続けられるような「「出番」をつくるしかけづくり」というフレーズを掲げていたり、47ページからの防災施策において、村民の皆様と協力した災害対策や防犯への積極的な取組について掲げるなど、村民の方が抱える不安を多方面から軽減できるよう努めて参ります。ご意見のとおり村に関わるすべての人が「ふるさとの担い手」として共通の認識を持ち、この「後期計画」を方針書として、それぞれの立場から村づくりをおこなっていくことが必要と認識しております。</p> <p>③ご提案ありがとうございます。いただいたご意見につきましては、業務の参考とさせていただきます。</p> <p>④人口の確保のための施策としては、住民のみなさまの世代によってそれぞれ異なってくると認識しております。例えば、子育て世代には、「子育て支援の充実」として、赤ちゃん応援支援金や小中高等学校入学支援金など子育てに特化した事業を展開しております。</p> <p>また、働き世代には、働く場の創出として、企業誘致や産業団地の造成など、なりわい人口増加に向けた取組みが挙げられます。</p> <p>さらに、高齢者の方がいらっしゃる世帯には、食による健康づくりや、医療の確保として、食生活の見直しや改善による健康増進、いいたてクリニックの運営や訪問診療の実施などが挙げられます。</p> <p>これらの取組みを通して、それぞれの世代において村で「やること（＝なりわい）」ができることで、村に住む方が少しずつ増えていくと考えられ、それに伴い村内のインフラもさらに整っていくことが期待されます。</p>
6	福祉 人口	<p>①国、県の補助金、交付金などの確保が難しくなってきたこと、高齢者が多くなり、村民に負担がかからない施策をお願いします。</p> <p>②村の人口が減り、移住者受入が進んでいますが、地域とのコミュニケーションのとり方、防犯の考え方も指導願いたい。</p>	<p>①財政と人口の見通しを踏まえながら、村民の皆様がお互いに支え合うことのできるよう、人口増加策に力を入れてまいります。ただし、いずれも行政だけで達成できるものではありませんので、村民の皆様をはじめ村に関わるすべての人のお力を借りながら進めていきたいと思っております。</p> <p>②計画素案30ページの移住施策の中で、村民と移住者のコミュニティ形成の促進を取組例として掲げております。また、防犯等の取組についても、47ページからの防災施策の中で掲げており、移住者か否かに関わらず広く意識啓発ができるよう努めてまいります。</p>
7	移住 なりわい	<p>①村へ移住している方は現実的に生涯に渡って飯舘村に住み続ける方達なのでしょう か？補助金制度を利用したの数年間だけではないのでしょうか？村民（隣近所）との関りが少ないと感じます。</p> <p>②交流人口の拡大を計画している様ですが、大企業の進出を望みます。そうなれば、福島市、相馬市、南相馬市の方からの雇用も考えられます。震災後、すぐなら簡単に誘致できたかも知れません。 企業誘致の件はしっかりと考え、計画すべきだと思います。 ただ飯舘村の自然、現在の環境は残しつつ進めてほしいです。</p>	<p>①村では、5年以上住み続ける意思のある方を対象に各種補助制度のご案内をしております。また、計画素案30ページの移住施策において、村民と移住者のコミュニティ形成の促進を取組例として掲げており、両者が関わりを持てる場づくりに努めてまいります。</p> <p>②計画素案26ページの産業（商工業）施策の中で主な取組事例に企業誘致を掲げており、ご指摘のとおり、関係機関や住民の皆様との協議を十分におこないながら進めてまいります。また、「飯舘村の自然、現在の環境は残しつつ進めてほしい」というご意見に関しましても、自然環境への影響を考慮しながら事業を進めてまいりたいと思っております。</p>

飯舘村第6次総合振興計画後期計画
住民アンケートにおける意見及び回答

No.	カテゴリ	質問・意見等	回答
8	住まい	<p>なりわい支援とありますが、飯舘村で住居を見つけることはとても難しいです。価格が高かったり、災害公営住宅への入居もできません。村営住宅も10人くらい待っている人がいるようです。</p> <p>民営のアパートに来て下さいと口で言うだけではなく、村が、ここに建てて下さいと土地を準備して整備するくらいのことをしなければ、住みたい人が住めないままです。移住サポート、実際に住めるところがなければ、絵に書いた餅だと思います。</p>	<p>移住者向けの住環境の整備については、村としても課題であると認識しております。計画素案30ページの移住施策の主な取り組み事例として住宅の確保を掲げており、実施計画において具体的な取り組みを示しながら事業を進めてまいります。</p>
9	地域文化	<p>地域文化を村づくりの基本理念として村民一丸となった体制作りが肝心だと思います。</p>	<p>ご意見ありがとうございます。ご指摘のとおり、村に関わる全ての人が「ふるさとの担い手」として共通の認識を持ち、この「後期計画」を方針書として、それぞれの立場から村づくりをおこなっていくことが必要と認識しております。</p>